

統計メールニュース No.1512(2022.12.16)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

【本日の公表データ】

■2022年（令和4年）科学技術研究調査結果

＜研究費＞

○2021年度の科学技術研究費（以下「研究費」という。）は、19兆7408億円（対前年度比2.6%増）で、2年ぶりの増加

○国内総生産（GDP）に対する研究費の比率は、3.59%と前年度に比べ0.01ポイント上昇

○政府が戦略的に取り組むべき基盤技術として位置付けられている特定目的3分野に使用した研究費は、AIが1744億円、バイオテクノロジーが2482億円、量子技術が1168億円

＜研究者数＞

○2022年3月31日現在の研究者数は、90万8300人（対前年度比2.0%増）で6年連続で増加し、過去最多

○研究者1人当たりの研究費は、2173万円（対前年度比0.6%増）で、3年ぶりの増加

○女性研究者数（実数）は、17万5400人（対前年度比5.5%増）で過去最多、研究者全体に占める割合は17.8%（前年度に比べ0.4ポイント上昇）と過去最高

<https://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/index.html>

□家計調査、労働力調査、小売物価統計調査を始めとした統計調査へのご理解・ご協力をお願いします。

「変化が見える、暮らしに役立つ 統計調査」（統計調査紹介ムービー）

https://www.youtube.com/watch?v=cx0D6_pbecY&list=PLwziZjhYLH6Xfj99EmU3yP268idJByZjh&index=1

□誰でも無料で学べるオンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」受講者募集中！令和5年1月10日（火）に開講するデータサイエンス・オンライン講座の受講者を募集中です。

社会人・大学生に政府統計の総合窓口 e-Stat や jSTAT MAP（地図で見る統計）、API 機能を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を分かりやすく解説していますので、是非、御登録ください。

<https://gacco.org/stat-japan3/>

配信先の変更・配信中止など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関する Q&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報利用推進課

stat_m-news@soumu.go.jp